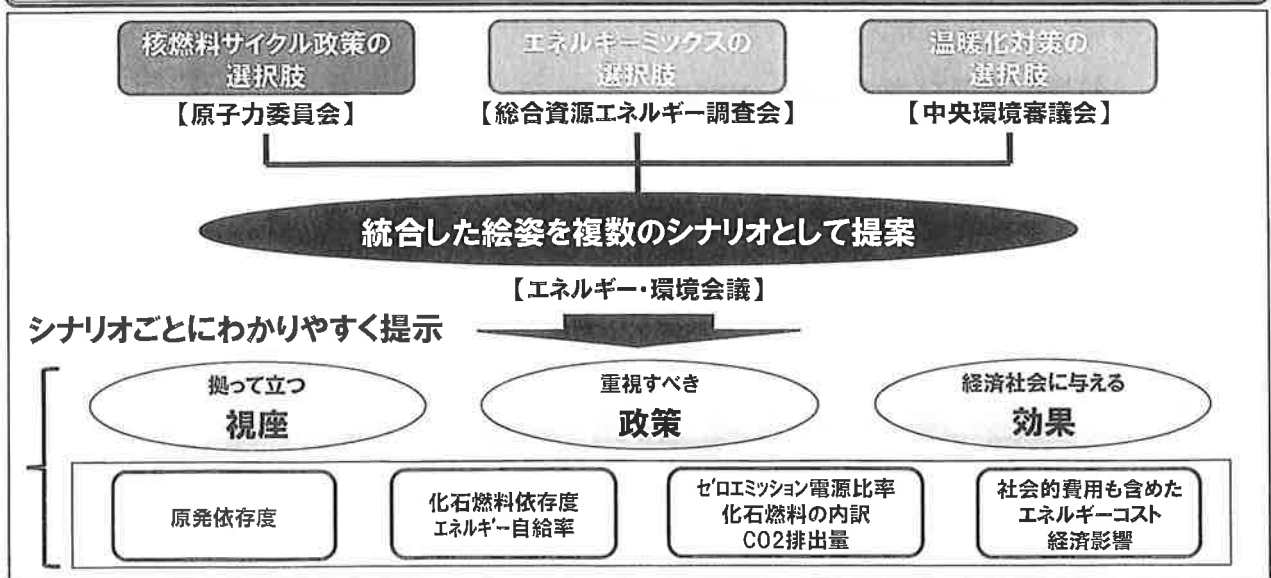


2. エネルギー・環境会議としての原発依存度低減の選択肢の設計 3

○ 「原発への依存度低減のシナリオを具体化する」との方針に立って整理。

(1) 原発依存度に関する選択肢	(2) 核燃料サイクル政策に関する選択肢	(3) 温暖化対策に関する選択肢
<p style="text-align: center;">検討中の4つの選択肢</p> <p>〔原発比率を早期にゼロ/ 原発依存度低減、2030年段階で検証/ 原発依存度低減、一定比率維持/ 市場の需要家の選択に委任〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・震災前の原発比率を下回ることを基本に3つに絞り込む</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">① 原発比率を早期にゼロとし、2030年0%程度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">② 原発依存度を低減し、2030年15%程度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">③ 原発依存度低減、一定程度維持し、2030年20～25%程度</div> <p><small>※エネルギーの選択は、国際的なエネルギー情勢や技術革新の動向、原子力安全に対する国民の信頼などに左右されることから、全ての選択肢について2030年を目途に検証を行うことを基本。 ※戦略の視座とこれを実現する政策群を決めて、こうした制度環境における、市場における需要家の選択の結果としてエネルギーミックスの数値などを実現するとの考え方を検討。</small></p>	<p style="text-align: center;">検討中の3つの選択肢</p> <p>〔再処理/直接処分/併存〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>原発依存度に関する選択肢と整合性を確保しながら整理</p>	<p style="text-align: center;">検討中の3つの選択肢</p> <p>〔高位/中位/低位〕</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・現在3つ示されている政策群の強度について、選択肢の数を絞り込む</p> <p>・2020年、2030年の国内の温室効果ガス排出量削減がどのような姿になるのかを提示</p>
<p>(4) 省エネ、再エネは加速 / (5) 資源燃料政策は強化 することを基本として考え方を共有</p>		
<p>① 節電徹底 (2030年時点で現行計画目標1.2兆kWh比2割減、2010年実績比1割減)</p> <p>② 一次エネの省エネ徹底 (2030年時点で2010年比約2割減)</p> <p>③ 再エネ電源比率2030年25-35%</p> <p>④ 分散電源導入加速 (コジェネ2030年時点15%)</p>	<p>・資源燃料政策を強化することを基本</p> <p>・原発比率に応じて化石燃料構成がどのようになるか、必要な政策群と併せて整理し、提示</p>	

3. エネルギー・環境会議として提示する複数のシナリオの基本設計 4



おわりに ～複数のシナリオ提示に向けて～

6月 選択肢提示

- ・6月8日 選択肢に関する中間的整理
- ・6月中 選択肢提示

7月 国民的議論

夏頃 革新的エネルギー・環境戦略決定